

尺度使用マニュアル

<尺度名>

対人ストレスユーモア対処尺度 (HCISS)

<測定概念>

本尺度は、個人の日常一般的な対人ストレスユーモアコーピングの使用傾向を測定する 1 次元尺度の質問紙である。対人ストレスユーモアコーピングは、ストレスフルな対人場面で互いの気持ち气和むように、その状況についてジョークを言う、または笑うという形で対処する仕方と定義される。コーピング方略としてのユーモアは、一般的に“ストレスフルな状況を捉え直す方法”と捉えられる認知的なコーピングである (Martin, 2007)。これに対して、対人ストレスユーモアコーピングは、1) コーピングの対象が対人場面に限定されている、2) ストレスフルな対人場面で即座に機能する、3) 認知的なユーモアコーピングには含まれていない対人的機能を有する、という特徴をもつ。

<適用範囲>

本尺度は大学生を対象に開発されたが、18 歳から 25 歳までの青年に適用可能と考えられる。

<尺度構成手続き>

対人ストレスイベント尺度 (橋本, 1997) と状況別羞恥感情質問紙 (成田・寺崎・新浜, 1990) を参考にして設定された 21 のストレスフルな対人場面から 21 項目を作成した。大学院生 7 名による内容的妥当性の確認、大学生 9 名による項目理解に関する検討を経て、HCISS (Ver.1) が作成された。次に予備調査として HCISS (Ver.1) を大学生 238 名 (男性 147 名, 女性 91 名) に実施した。因子分析の結果、HCISS (Ver.1) は 1 次元尺度と解釈され、計 12 項目が選定され、HCISS (Ver.2) が出来上がった。HCISS (Ver.2) を用いた本調査では、大学生 987 名 (男性 478 名, 女性 509 名) を対象とした。得られた回答から因子的妥当性、内的整合性および得点分布の正規性が確認され、HCISS が完成した。安定性の検討は大学生 370 名 (男性 160 名, 女性 210 名) を対象とし、5 週間ないし 6 週間の間隔をおいて行われた。構成概念妥当性の検討には、仲間評定法と Rochester Interaction Record (RIR: Wheeler & Nezlek, 1977) を採用した。仲間評定法では 11 の小集団を対象とし、大学生 96 名 (男性 57 名, 女性 39 名) が参加した。RIR では大学生 37 名 (男性 21 名, 女性 16 名) を分析対象とした。検査-再検査の相関係数から安定性が確認された。HCISS 得点と仲間評定得点の相関係数、および RIR 得点を目的変数、性と HCISS 得点を説明変数とした重回帰分析の結果から、構成概念妥当性が確認された。

<信頼性>

内的整合性: α 係数 全体 (男女込み) .86, 男性 .84, 女性 .87

項目間の相関係数の平均 全体（男女込み） $r=.33$, 男性 $r=.30$, 女性 $r=.36$
安定性：検査－再検査の相関係数 全体（男女込み） $r=.78$, 男性 $r=.74$, 女性 $r=.82$

<妥当性>

因子的妥当性：*RMSEA* 全体（男女込み）.02, 男性 .00, 女性 .01

構成概念妥当性：*HCISS* 得点と仲間評定得点の相関係数 男性 $r=.39$, 女性 $r=.49$

重回帰分析の結果（目的変数：RIR 得点） *HCISS* 得点 $b=.11$, $\beta=.36$

<採点方法>

回答形式は“まったく行わない（1点）”“あまり行わない（2点）”“ときどき行う（3点）”“よく行う（4点）”“いつも行う（5点）”の5件法。12項目の合計を尺度得点とする。尺度得点が高くなるにしたがって、対人ストレスユーモアコーピングの使用頻度が高くなることを示す。

<尺度の使用について>

- 1) 教示文が記載された表紙を含めて、オリジナルの質問紙を使用してください。
- 2) 項目の変更は原則として認められませんが、希望する場合には事前に作成者の承諾を得てください。

(出典文献)

楳本知子・山崎勝之（2010）. 対人ストレスユーモア対処尺度（*HCISS*）の作成と信頼性、妥当性の検討 *パーソナリティ研究*, 18, 96-104.

楳本知子・山崎勝之（2011）. 対人ストレスユーモアコーピングが敵意、意識的防衛性と抑うつに及ぼす影響 *心理学研究*, 82, 印刷中

<連絡先>

楳本知子（東亜大学人間科学部）
e-mail: nkunugim@toua-u.ac.jp

<無料・有料の別>

無料

<著作権関連情報>

出典を明記の上、ご自由にお使いください。

(その他)

大学生以外の青年を対象として本尺度を用いた場合は、結果をご一報いただけると幸いです。